

# 感動が心を育てる! 子どもとともに大人も 成長できる地域へ

「親子で芸術を楽しむ環境を地域にも」を合言葉に始まったおやこ劇場。その活動は全国に広がり、浜田市でも親子が成長できる地域づくりが行われています。今回はコロナ禍を経てさらに絆が深まったという浜田おやこ劇場の活動をお伝えします。

島根県 NPO法人 **浜田おやこ劇場**

## 地域がつながり、支え合う環境が、親子の成長を助けます

「コロナの影響で活動できない時期が続き、とても不安でした」と語る理事長の馬場さん。そもそも馬場さんがおやこ劇場に参加したのは9年前のこと。夫の転勤で引っ越してきたものの、まわりは知らない人ばかり。子育ての悩みを分かち合えるつながりが欲しくて、おやこ劇場の活動の一環であるお母さんたちの交流サロン、すぺーす・ひだまりに参加するのがきっかけとなって、おやこ劇場のことを知ったそうです。

馬場さんのお話からもわかるように、実は鑑賞事業だけではない浜田おやこ劇場の取り組み。その幅広い活動について、事務局の大草さんと上野さんは、「確かに舞台や音楽の鑑賞事業を柱としていますが、“親子がともに成長

する地域づくり」という理念のもと、さまざまな活動を展開しています。すぺーす・ひだまりの他にも、おやこフェスタやキャンプといった楽しい催しや父親たちの交流の場「おやじの会」などもあるんですよ」と説明してくれました。

先輩お母さんたち、地域の方と交流することで、「母親として成長できた」と感じている事務局の3人。だからこそ、活動を継続させ、今度は自分が若いお母さんを手助けすることに強い使命感を感じているそうです。ところが昨年、新型コロナウイルスの影響により、柱である鑑賞事業が行えなくなり、会員間の交流もままならない事態が発生。このままでは存続自体が危ぶまれるといった状況の中、いつか再開する鑑賞事業のためにと、会員たち

が自主的に手作りマスクを販売したり、ごく少人数で交流サロンを開くなど、みずからつながりを深める姿に、「とても励まされた」とのこと。結果的にひとりの退会者もなく、2020年9月に公演を無事再開できたそうです。

今後も会員の声を聴きながら、時代が求める活動を展開したいと語るみなさん。30年紡いできた地域の絆が親子それぞれの成長を支えています。



活動拠点としている事務局の1階。

事務局の2階はコロナ禍を経て交流の大切さを実感したことからサロンとして開放中



浜田おやこ劇場 事務局長  
大草 明美さん

浜田おやこ劇場 理事長  
馬場 範子さん

浜田おやこ劇場 事務局員  
上野 恭子さん

※撮影時のマスクを外しています。

親子、地域で楽しめるイベントを開催しています。

### 鑑賞事業

おやこ劇場の核となる活動です。年4~5回のペースで行われており、一般の方にも舞台を楽しんでもらう機会があります。なかでも未就学児を対象とした公演は将来の会員につながる大切な舞台。お母さんの中には「おとなしく鑑賞できないから」と遠慮される方もいますが、心配は無用!自分らしく楽しむのがおやこ劇場流です。



### KRK:高学年例会企画部

子どもたちの学年が進むと、今度は見る側から舞台を運営する側へと役割が変わる「KRK」という部門があります。ここでは小学5年生~中学生の子どもたちが2年に一度、自分たちが観たい鑑賞作品を選び、責任を持って運営担当しています。子どもたちが作る手の込んだチケットやポスターも毎回評判を呼んでいます。

裏方としてみんなと協力しながら力を発揮する子どもたち。そのたくましい成長ぶりは頼もしいかぎりです。



2020年9月に再開した演劇鑑賞で配布したチラシとチケット。今回はチケットとともにマスクに貼れる「ぶた鼻シール」を作成し、当日つけてきてもらいました。チケットは毎回子どもたちの手作り。



## あなたの地域にもあるかも!? 全国的に広がる「おやこ劇場」&「子ども劇場」

おやこ劇場とは、1966年に福岡の市民運動から始まった「文化芸術や遊びの体験を通じ、子どもと大人がともに育ち合える地域をつくっていこう」という活動です。現在、600を超える地域で展開されており、浜田市でも1989年に発足され、2019年には設立30周年を迎えました。子どもの権利条約をまんなかに、子どもも大人も主体的に参画できるよう取り組んでいます。他団体との情報交換も盛んに行われており、演目や鑑賞のあり方についても活発に意見が交わされています。





# まだまだ楽しい活動が盛りだくさん

## おやこフェスタ

会員間の交流をはかり、おやこ劇場の活動を広く知ってもらうための事業です。食べ物を作る屋台もあれば、輪投げやフリマコーナーなどもあり、それぞれがアイデアを出し合って、大人も子どもも一役担えるお店づくりを展開。また、紙芝居やマジックなどの舞台が披露されることもあり、楽しい恒例行事として地域に定着しています。



あなたも  
参加してみませんか？

## すぺーす・ひだまり

月2回、定期的で開催されている子育て中の親子の交流サロンです。子育ての悩みを相談したり、お母さん同士が情報交換を行うことで、息抜きや気分転換をしてほしいという思いから始まりました。転勤族の方の参加も多く、ここで新しいお友だちができたという方も少なくありません。参加される方はもちろん、スタッフも若いお母さんとの交流を楽しみにしています。



どのイベントも  
手作りで楽しいよ〜♪



## キャンプ

OB・OGの力を借りて始めたキャンプも今年で18年目を迎えます。かつて見守られる側だった若者たちは、「キャンプで新しい自分を発見できた」と当時を振り返ります。バトンはつなぐれ、今度は彼らが見守る側として活動を支えています。



## おやじの会

お母さんや子どもたちのかけに隠れて、何となく肩身の狭かったお父さんたちが集まって、「おやじの会」を結成。イベント時は力仕事や駐車場係などで貢献するかたわら、「ゆるく、楽しく」をコンセプトに交流を楽しんでいます。



## フリースペースでサロン開催も

気軽に集える居場所をつくりたいという思いから、事務局2階をフリースペースとして開放。今後はおしゃべりサロンや子育て相談の場として活用したり、ちょっとした催しごとにも貸し出す予定。

### 入会方法

興味のある方は右記事務局にお問い合わせください。

- どなたでも年齢に関係なく入会可能。
- 会費は4歳以上一律1,300円/月(3歳以下は無料)
- 入会時のみ入会金200円が必要。



手芸部などの部活動もフリースペースで楽しめます。



取材協力/NPO法人浜田おやこ劇場  
事務局＆お問い合わせ  
〒697-0024  
島根県浜田市黒川町1124-5  
TEL/FAX:0855-23-6396  
MAIL:oyako-chan@h8.dion.ne.jp